

地域の願い担う救急医療の充実を

「南部地域に救急の受け入れできる病院を」と、上郷・高岡地域の住民のみなさんが長年、運動を続けています。

豊田市議会では、根本みはる市議が2017年3月議会、医療施設が豊田厚生病院、地域医療センターのように、市の北部の地域に偏在していること、南部地域には総合病院が無いために、救急車での搬送先が安城市、刈谷市、岡



崎市など市外の病院に、年間1000件を超えている現状と、市民病院の無い豊田市に、他県から250床の民間病院が進出し、まもなく開院する予定であることも答弁で明らかにしました。そして、根本市議は「市の支援で南部地域に救急医療の確保を」と迫りました。

開院前の3月には内覧会が開かれ、地域から2日間でのべ6300人が訪れ、この病院への期待の大きさが覗われました。

署名を7800集め、市に提出

「地域医療と病院問題を考える会」は2012年から運動を続け「南部地域に総合病院と救急の受け入れがで

きる医療施設を」という切実な願いは、7800を超える署名という形で豊田市に届けられました。やまのぶの前や駅頭で呼びかけると、次々と署名が集まる状況は、病院問題が地域の願いであることを物語っています。

1057件が市外への搬送

2019年9月議会、根本市議は、各消防署から病院に搬送された年間件数を質問。南消防署から市外の病院に搬送した件数は、1057件で、北消防署からの搬送77件と比べても突出しています。(平成30年度)

それでも、市は2次救急、3次救急医療体制は整っていると、これまでの答弁を繰り返しており、救急医療のために病院に補助をする安城市や、総合病院を誘致する岡崎市との違いは歴然です。一次救急を担う施設についても、地域から要望は強く、市が上郷の和会町に休日診



2019年12月の懇談会の様子

療所を設置する運びとなりました。日曜日・祝日の午前9時から午後5時までの診療時間のため、夜間の診療を望む声が強い現状があり、引き続き、診療体制の拡充が求められます。長年の間、地域住民の声を集めて、運動を続けてきた「地域医療と病院問題を考える会」は、2月12日(日)午前9時30分から、若林交流館で第45回目となる懇談会を予定しています。

18歳まで
医療費ゼロ
学校の
給食費ゼロ
市民の運動と力あわせ
一歩一歩実現します
日本共産党

原発ゼロ
再エネで
自給率UP
太陽光
風力
バイオマス
自然エネルギー
先進国に
日本共産党

日本共産党
大軍拡も
大增税も
NO!
対話の外交で
平和を守ろう

日本共産党
賃金あげて
消費税さげる
YES
なにより優先
みんなの生活

新しいポスターの貼り出しに、ご協力をお願いいたします

第44回トヨタ総行動スケジュール

①トヨタ本社始めグループ企業への要請

2月初旬

②早朝宣伝

日時：2月10日（金）

場所：トヨタ本社前 7:30～8:30

③名古屋駅大宣伝&トヨタ包囲デモ

日時：2月11日（土）10:30

場所：名古屋駅前桜通口交番前&ゲータワー前、その他

主催 第44回トヨタ総行動実行委員会

大企業の利益を労働者の賃金へ 第44回トヨタ総行動で大きく訴えましょう

2023年国民春闘の闘いの中、第44回トヨタ総行動が、トヨタ本社前、刈谷市内、名古屋市内で行われます。

コロナ禍に物価高騰が経営や暮らしに追い打ちをかける中で、大企業だけが利益を上げ続け、内部留保もさらに増やして、484兆円にもなっています。今こそ、これを労働者の賃上げに活かして、大企業としての責任を問う行動です。岸田首相も賃上げをお願いすると言いますが、経済対策としても、賃上げが有効であることは明らかであり、世論を大きく広げましょう。



昨年のトヨタ総行動（トヨタ本社前宣伝）

衆議院議長 様
参議院議長 様

2023年 月

平和、いのち、くらしを壊す 大軍拡、大增税に反対する請願署名

請願の趣旨

いま日本は、「戦争か平和か」の歴史的岐路に立っています。

政府は、2022年年末に「安保関連3文書（国家安全保障戦略、国家防衛戦略、防衛力整備計画）」の改定を閣議決定しました。他国に直接の脅威を与え、先制攻撃も可能な「軍隊と武器」（敵基地攻撃能力）を持つとするものです。2015年の安保法制での「戦争国家づくり」を実践するもので、専守防衛をふみにじる憲法違反です。

政府は、「専守防衛」に徹し、他国に脅威を与えるような軍事大国にならず」といいます。しかし、世界第3位の軍事大国になり、他国攻撃ができる長距離ミサイルを持つことが、周辺国の不信をあい、脅威をあたえ、軍拡競争を過熱させることは明らかです。安保法制を施行して敵基地等を攻撃すれば、日本が攻撃されていなくても他国を攻撃することになり、相手の報復攻撃をまねき日本が戦場になりかねません。

政府は、軍事費について2027年度までの5年間の総額を43兆円とし、27年度にはGDP（国内総生産）比で2%と現在の2倍にするとしています。財源確保のために大增税と国債発行を行うとしており、くらしを直撃します。軍事費増で、いまでも不十分な教育費や社会保障費への国の支出が減りかねません。これらの結果、くらしも経済も立ちいかなくなることは戦前の歴史が示しています。

不確実性が高まる国際情勢のもとで、憲法9条を持つ国としていま行うべきは「戦争の準備」ではなく、対話と外交によって「戦争をさける努力」です。それこそ政治の責任です。

この国のあり方を根本からくつがえし、くらしを壊す大軍拡を開かれた論議もなしに閣議決定ですすめたことは民主主義、立憲主義に反しています。

以上のことから、以下のことの実現を求めます。

請願項目

- 平和、いのち、くらしを壊し、国民に負担を押しつける大軍拡、大增税はやめてください。
- 大軍拡などを決定した「安保関連3文書」改定を撤回してください。

氏 名	住 所

*この署名は、個人情報保護法に基づき目的以外には使用しません

平和、いのち、くらしを壊す戦争準備の大軍拡・大增税NO!連絡会（取り合い団体）
【連絡先】 憲法共同センター 〒113-8462文京区湯島2-4-4 平和と労働センター4F TEL03-5842-5611

9条改憲NO! 署名・スタンディング行動 2月19日(日)

とき: 13:00 から
場所: 豊田市駅西側デッキ

主催 9条改憲NO!豊田市民アクション

岸田政権が狙う大軍拡は、歴代政府の見解を変え、国のあり方を変え、戦争する国へ突き進むものです。憲法違反であり、「専守防衛」だと国民を騙すやり方は許せません。大軍拡・大增税に反対の運動を大きく広げましょう。

